

## 【 目標達成計画 】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束、虐待はいかなる時でもやってはいけない事と職員は十分に認識しているが、行動指針を策定することが必要である。	身体拘束、虐待の行動指針やマニュアルを充実させる。	研修を重ねることで、現実に身体拘束、虐待の理解をし、切羽詰まった極限で、どのような判断をしたら良いかの勉強をする。	6ヶ月
2	10	ご家族とは、面会時や電話でコミュニケーションをとって信頼関係を築いているが、家族からの要望を詳細に記録し、職員全員で分析、検討をしていくことが大切である。	御家族からの要望を詳細に分析することで、毎日の介護に反映させ、個人個人のきめの細かいケアを目指す。	要望の多い家族とそうでない家族のバランスを考え、定期的に連絡をし、グランマでの生活を報告したり、要望を聞き、より一層の信頼関係を築いていく。	3ヶ月
3	11	管理者やリーダーと施設長の会話でのコミュニケーションはとれているが、記録として残しているものが少ない。	毎日の何気ない会話を記録することで、職員全員が話題を共有し、介護に活かすことができる。	今まで通りの風通しの良い職場を維持するために、会話を記録することで、ニュアンスが職員に伝わりやすく、より良い職場関係を築くことができる。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。